

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 3 月 19 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.6 m ³ /h	23.7	106.1 kPa abs	A系:0.00 vol% B系: - vol%
		給水系：約 4.7 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 6.0 m ³ /h	43.2	18.78 kPa g	A系:0.12 vol% B系: - vol%
		給水系：約 2.9 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.9 m ³ /h	53.6	0.31 kPa g	A系:0.19 vol% B系: - vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			

*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

※電源停止作業に伴い 3/19 11:00 時点のデータ欠測。

【1号機】・3/16 20:52 原子炉格納容器内雰囲気温度について、一部の温度計で指示値の上昇傾向が見られることから、原子炉格納容器への窒素封入量を約 18m³/hから約 23m³/hへ変更。

【2号機】・3/19 9:45 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.5m³/hから約 3.0m³/h、に調整。(炉心スプレイ系からの注水量は約 6.0m³/hで継続中)。

・3/19 10:33 原子炉格納容器内部の調査準備として、原子炉格納容器への窒素封入量を約 10 m³/h から5m³/hに変更(原子炉压力容器への窒素封入量は変化なし)。

【3号機】・3/17 9:53 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 5.6m³/hから約 5.0m³/hに調整。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中*	28.0
2号機	循環冷却システム	運転中	17.5
3号機	循環冷却システム	停止中	14.6
4号機	循環冷却システム	停止中	28

*システム二次系エアフィンクーラー:停止中

【2号機】・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。

・3/19 13:24～15:06 使用済燃料プールへヒドラジンの注入を実施。

【3号機】・3/18 9:38～ 使用済燃料プール代替冷却システムにおいて、一次冷却系の弁分解点検を実施するため、使用済燃料プールの冷却を一時停止。停止は 3/21 迄を予定。この間の使用済燃料プール温度の上昇は約 20℃の見込み(停止時使用済燃料プール水温:15.0℃)。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	3/11 8:47 ~ 3/18 9:37 移送実施
	2号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	3/18 10:13 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	3/15 8:46 ~ 3/18 10:00 移送実施 3/19 8:41 ~ 移送実施中

・3/19 8:27～16:23 集中廃棄物処理施設においてサイトバンカ建屋からプロセス主建屋へ溜まり水の移送を実施。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/19 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	運転中	運転中	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/3/19 南側開閉所の運転開始に伴い、所内電源系の受電切り替えを実施するため、5:12 に3号機の原子炉監視計器(原子炉圧力容器各部温度)*および4号機使用済燃料プールの冷却、5:33 に共用プールの冷却を停止。なお、冷却停止時の4号機使用済燃料プール水温度は 28℃、予想される温度上昇率は約 0.55℃/h、共用プール水温度は21.3℃、予想される温度上昇率は約0.23℃/hであり、停止時間は約14時間を予定していることから、プール水温度の観点から、十分な余裕があるため、問題はない。
* : 電源設備停止期間中は保安規定第 138 条および第 143 条に定める運転上の制限を満足しない状態となることから、第 136 条(保全作業を実施するため計画的に運転上の制限外へ移行)を適用して作業を行う。なお、電源設備停止期間中も温度監視を可能にするため、仮設発電機により電源供給を行う(3/19 5:56、仮設発電機により電源供給を開始)。

以上